

## 第 1758 回例会報告

令和4年10月13日(木)曇り

### 会長告知

### 「ミンダナオ子供図書館、西村さんをお招きして」

会長 萩田 均

本日は、ミンダナオ子供図書館の職員、西村さんをお招きして卓話をいただきます。昨年の zoom による卓話に引き続き、ミンダナオの子供たちのことを教えていただき、つつじが丘学園の似た環境にある子供たちと国際交流ができることを願い、お話をいただきます。本日はよろしくお祈りいたします。

先週の月の話です。先月の中秋の名月と8日の後の月を愛でることができました。

9月1日の例会挨拶において、下諏訪町教育委員会での話をさせていただきました。長崎さんも河西さんも歴任されていることですが、その挨拶の中でも話したことです。役所はPRがあまり得意ではありません。下諏訪町では住民の寄付などを活用し、こども未来基金を創設して、子育て支援に奨学金を出しています。特に、給付型奨学金は大学生、短大生、専門学校に通う子供たちに月額10数万円の額を給付しています。給付型奨学金は原則、非課税世帯に給付としていますが、それに近い額の収入でも、昨年は高額であって本年下がってしまった世帯においても、教育委員会の承認があれば通りました。返還型の奨学金も、私の年収においても申請でき、子供が下諏訪に戻ってくれば返還しなくてもよ

い規則になっていました。私の子供たちは足長奨学会の奨学金を受け、大学に通っていました。私が教育委員をしていたのは、すべての子供が大学を卒業した後であったので、大変、残念に思った次第です。このように様々な機関において、施策を講じています。日本においてはある意味、圧力や我慢により前に進めない子供たちがあることも事実です。もっと、よりよくなるため奨学金の充実と、住民サービスをすべきです。今でも、調べれば何とかなる可能性があります。しかし、完全ではありません。これからも皆さんの協力が必要です。

## 第 1758 回例会

### 「愛と尊重」

ミンダナオ子ども図書館(MCL)  
西村奈々子さん

担当 国際奉仕委員会

MCL の子ども達と題してお話をさせていただきました。

冒頭に、前年度支援した水供給・井戸掘削事業について、まだ飲料には使っていないけれど、炊事・洗濯・シャワー・水遊び等々の使用状況が話され、大変重宝している旨の報告と丁重な御礼が述べられました。

つづいて本題であるMCLの子ども達の暮らしぶりや様子が話されました。



♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	35人	9人	14,000円	西村奈々子さんが「ミンダナオ子ども図書館の子供たち」についてのお話をします。ご清聴！！よろしくお祈りいたします 国際奉仕委員会 西村奈々子さん本日はよろしくお祈りいたします 萩田均会長 西村さん本日は諏訪湖ロータリークラブ例会によくこそ！卓話楽しみにしています 小口直久 西村奈々子さん、本日卓話楽しみにしています。 宮坂英貴 諏訪圏工業メッセが始まりました。お出かけください 御子柴文夫
出席対象	34人	累計	248,000円	
出席者数	19人	目標額	60万円	
出席率	55.9%	達成率	41.3%	
前回修正	77.1%			

「MCLでは、現在、80名余の子ども達が寄宿して通学しています。宿舎には、子ども達を世話するスタッフを含め、100名余が一大家族となって、それぞれキリスト教であったり、イスラ教であったり、伝統の自然神であったりと、その出身により様々な宗教を信じているのですが、宗教の垣根を越えて、助けて暮らしています。」



MCLの子ども達は、どうして、みんな明るく元気なのか。日本の子ども達と比べれば、暮らしはずっと貧しいけれど未来に向かって夢や希望をもって心は豊か、子ども達みんなで話し合っ、ルールを決めて暮らしています。愛と尊重の心がMCLのキーワードです。

寮で暮らす子ども達の他に、250名余の子ども達が奨学金を得て、小学校から大学で、勉強しています。MCLの基本的な考え方は、マイナス状況にある子ども達を、食べることができる、学校に行っ勉強することができる、病気になるれば医者に診てもらっことができるというゼロの地点に引き上げて、さらにプラスの状況へ送り出していくという考えなのです。

MCLの運営は、日本の皆さんからのご寄付によって成り立っていますが、それでもスタッフが水田でお米を生産し、主食を少しでも自分たちで賄えるようにしていますが、最近の物価高騰、円安により手取りペソの減少など厳しい状況になっています。そんな状況を打開し、自立していくために、さらに水



萩田会長より本年度のMCL支援金10万円をお贈りしました。田を購入しお米を増産、販売して資金をつくる計画を立て、クラウドファンディングを始めました。ご支援、ご協力を宜しくお願いします。」

後日 奈々子さんから、「諏訪湖ロータリークラブの皆さんから多くの励ましをいただき、嬉しかったです。頑張っ参ります。ありがとうございました。」とメールが届きました。

## 「つつじヶ丘学園の子ども達と交流」

奈々子さんの来訪には、もう一つの目的がありました。青少年奉仕委員会と国際奉仕委員会との共同事業で、「つつじヶ丘学園の子ども達とMCLの子ども達との交流」という事業です。同じような境遇にある子ども達が交流し励まし合っ明日が開ければいいなという思いからMCLの子ども達の元気をつつじヶ丘の子ども達にいただくという目論見で、その



可能性の調査・研究です。つつじヶ丘の子ども達5人が、奈々子さんの話を聞き、その上で、Zoomでミンダナオと繋がり、わずかですが交流できました。参加した子ども達の反応はどんなであったか川瀬園長に聞いてもらっています。

## 小笠原青少年奉仕委員長談

つつじヶ丘の生徒は不安定なこともあり、あまり刺激しないように少ない人数(3人)で訪問しました。

ミンダナオ子ども図書館の生徒とWebで交流しましたが、始めはおとなしかったつつじヶ丘の生徒も次第に心を開いて表情が生き生き変化するのがよくわかりました。ロータリーの事業として良い方向性が見えてきた気がしました。



西村奈々子さん歓迎会